

作成日 2011年 3月 31日

改定日 2023年 5月 18日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : UV ローラー洗い油 S (改)
 供給者の会社名称 : 久保井インキ株式会社
 住所 : 大阪市東成区東今里 2 丁目 11-23
 担当部門 : 技術部
 担当者 : 山田晃太郎
 電話番号 : 06-6973-6211
 FAX 番号 : 06-6973-6171
 緊急連絡先電話番号 : 06-6973-6211
 推奨用途 : 洗い油
 使用上の制限 : 業務用
 整理番号 : 1UR019J7

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 引火性液体 区分 3
 発がん性 区分 1B
 皮膚腐食性/刺激性 区分 2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 2
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (麻酔作用)
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性)
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 2
 水生環境有害性-急性有害性 区分 2
 水生環境有害性-長期間有害性 区分 2

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性液体及び蒸気 (H226)
 発がんのおそれ (H350)
 皮膚刺激 (H315)
 強い眼刺激 (H319)
 臓器の障害のおそれ (H371)
 呼吸器への刺激のおそれ (H335)
 眠気またはめまいのおそれ (H336)
 長期にわたる、または、反復ばく露による臓器の障害 (H372)
 長期にわたる、または、反復ばく露による臓器の障害のおそれ (H373)
 水生生物に毒性 (H401)

	長期継続的影響により水生生物に毒性 (H411)
注意書き	
安全対策	: 環境への放出は避けること。(P273) 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙 (P210) 容器を密閉しておくこと。(P233) 容器を接地すること / アースをとること。(P240) 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。(P241) 火花を発生させない工具を使用すること。(P242) 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243) 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。(P260) 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280) 取り扱い後は、手をよく洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
応急措置	: 火災の場合: 消火するために粉末 / 泡 / 炭酸ガス消火器を使用すること。(P370+P378) 吸入した場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること (P304+P312) 気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P314) 気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P312) 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313) 皮膚刺激又は発しんが生じた場合: 医師の診察 / 手当てを受けること。(P333+P313) 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313) 特別な処置が必要である(P321) (このSDSの注意書きを見よ)。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364) ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。(P308+P313) ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。ばく露したとき、または気分の悪いとき、医師に連絡すること (P308+P311) 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 皮膚 (または髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 漏出物を回収すること。(P391)
保管	: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。(P403+P233+P235)
廃棄	: 内容物 / 容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	含有率	化学特性	化審法番号 安衛法番号	CAS No.
低沸点芳香族ソルベント ナフサ	40～50%		(9)-1691 (9)-1698 (9)-1700 (9)-2578	64742-95-6
1,2,4-トリメチルベンゼン	26.4%		(3)-7 (3)-3427	95-63-6
1,3,5-トリメチルベンゼン	8.0%		(3)-7 (3)-3427	108-67-8
クメン	1.6%		(3)-22	98-82-8
エチレングリコールモノ -tert-ブチルエーテル	20～30%		(2)-2424	7580-85-0

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

吸入した場合 : 負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

水でうがいをする。

皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹼水で洗う。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合 : 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。

飲み込んだ場合は、水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。

応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する（曝露防止措置の注意事項を参照）。

医師に対する特別注意事項 : 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項又はSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、泡、炭酸ガス。

使用してならない消火剤 : 棒状水

特有の消火方法 : 周辺火災の場合 : 移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。

着火した場合 : 火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業者は保護具（8. 曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項

: 漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
 溶剤成分を含む排水の公共水域への排出または地下浸透を防止するため、溶剤成分がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。

封じ込め及び浄化方法及び機材

: 少量の場合は、土砂などに吸収させて、密閉容器に回収する。
 多量の場合は土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後に、蓋付きの密閉容器に回収する。
 いずれの場合も、火花等を発生しない安全なシャベル等の器具を用い回収すること。
 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策

: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 火気厳禁。
 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取扱い

: 容器は注意して取扱い、開ける。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 使用時には飲食しない。
 皮膚との接触を避ける。
 眼との接触を避ける。
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹸水で洗う。

技術的対策

: 取扱いは換気の良い場所で行う。
 局所排気装置の設置、設備の密閉化、及び全体換気を適切に行うことが望ましい。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。禁煙。
 「8. 曝露防止措置及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 容器を接地すること、アースをとること。
 取り扱い作業場の電気設備は、防爆構造とし、機器類は接地する。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずる。作業服、作業靴は導電性のものを用いる。
 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

適当な保護衣及び眼・顔面用の保護具を着用する。
取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

安全取扱い注意事項：知見無し

接触回避：情報なし

保管

適切な保管条件：法規に従って、耐火構造、危険物施設に保管する。
容器を換気の良い、涼しい場所で、施錠して保管する。
容器を密閉して保管する。
消防法危険物1、6類と混載してはならない。
環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。
熱から離して保管する。
着火源からはなして保管するー禁煙。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会：1,2,4-トリメチルベンゼン

25ppm ; 120mg/m³

：クメン

10ppm ; 50mg/m³ (皮)

：1,3,5-トリメチルベンゼン

25ppm ; 120mg/m³

ACGIH：1,2,4-トリメチルベンゼン

TWA：25ppm (1987年版、中枢神経系障害、ぜん息、血液学的影響)
クメン

TWA：5ppm (2020年版、上気道腺腫；神経学的影響)

1,2,4-トリメチルベンゼン

TWA：25ppm (1987年版、中枢神経系障害、ぜん息、血液学的影響)

設備対策

：防爆型の電気設備、換気、照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、及び全体換気を適切に行うことが望ましい。
取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

：有機溶剤用マスク。

本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。

手の保護具

：不浸透手袋 (ウレタン製等)。

眼の保護具

：保護眼鏡 (ゴーグル型) 又は保護面 (防災面)

皮膚及び身体の保護具：帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

適切な衛生対策

：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

作業終了時には、石鹸等により手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理状態：液体
色：無色透明

臭い	: 溶剤臭
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点及び 沸騰範囲	: 初留点 152.5℃
可燃性	: データなし
爆発下限及び 爆発上限/可燃限界	: 下限 : 0.6vol% 上限 : 10.5vol%
引火点	: (1,2,4-トリメチルベンゼン) 44℃
自然発火点	: 440℃
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水: 難溶 有機溶剤: 易溶
n-オクタノール/水 分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重 (密度)	: 0.877
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件では安定。
反応性	: なし
避けるべき条件	: 有機過酸化物等
混触危険物質	: 強酸、強アルカリ、強酸化剤、強還元剤
危険有害な分解製生物	: 燃焼すると CO 等の有害ガスを発生する。

1 1. 有害性情報

製品	
急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 区分 2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分 1B
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 2 区分 3 (気道刺激性) 区分 3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 1

区分2

誤えん性有害性 : 分類できない

1 2. 環境影響情報

製品

生体毒性

急性毒性 : 区分2

慢性毒性 : 区分2

残留性/分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

1,2,4-トリメチルベンゼンとして生体蓄積性: log Pow=3.8(ICSC,2002)

1,3,5-トリメチルベンゼンとして生体蓄積性: log Pow=3.42(ICSC,2002);

BCF=342(Check&Review,Japan)

クメンとして生体蓄積性: log Pow=3.66(PHYSPROP Database, 2005)

土壤中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 分類できない

1 3. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物 : 本製品は PRTR 法第一種指定化学物質を含有する。

本製品は環境に排出してはならない。

この製品は排水溝中に空けてはならない。

産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、特別管理産業廃棄物処理表を交付し、処理を委託する。

法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。

汚染容器及び包装 : 情報なし

1 4 輸送上の注意

国連分類 : クラス3

国連番号 : 1263

品名(国連輸送名) : 塗料または塗料関連物質

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 海洋汚染物質

特定の安全対策及び条件 : 保護具、消火器を携帯する。

必要であれば、イエローカードを携帯する。

容器に破損、漏れの無いことを確認し、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止措置を確実にを行う。

陸上輸送 : 消防法 (危険物第4類第2石油類) の基準に従い積載・運搬を行う。

・容器表示として、製品名、消防法分類、危険等級、数量、火気厳禁

・指定数量以上の製品を車両で運送する場合は、総務省令の定めによる処置をすること。

・第1類、第6類の危険物及び高压ガスとの混載しないこと

1 5 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン (政令番号49 人健康影響、生態影響)

1,3,5-トリメチルベンゼン (政令番号201 人健康影響)

クメン (政令番号126 人健康影響)

労働安全衛生法	: 第3種有機溶剤 (施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9) 低沸点芳香族ソルベントナフサ、クメン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表9) 低沸点芳香族ソルベントナフサ (政令番号: 168) : 40~45% クメン (政令番号: 138) : 1.6% トリメチルベンゼン (1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン) (政令番号: 404) : 34.4% 施行令別表第1 危険物 (引火性の物)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 危険物 第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ (非水溶性液体)
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質 有害液体物質 (X類) : 1,3,5-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン 有害液体物質 (Y類) : クメン
船舶安全法	: 引火性液体類 分類3
航空法	: 引火性液体 分類3
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 第1種指定化学物質 トリメチルベンゼン (1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン) (政令番号: 1-342) : 34.4% クメン (政令番号: 1-106) : 1.6% 2-ターシャリーブトキシエタノール (エチレングリコールモノ-tert-ブチルエーテル) (政令番号: 1-416) : 20~30%
廃棄物処理法	: 特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

印刷インキを用いた印刷工程は IARC 2B (暴露環境はヒトに対して発がん性があるかもしれない暴露を伴う) に分類されています。

本文書は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については技術資料、仕様書等をご参照下さい。

保護具に関する詳細については (社) 日本保安用品協会 (TEL:03-5804-3125) にお問い合わせ下さい。

参考資料 : 化学物質総合検索システム (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE)
: 独立行政法人 国立環境研究所データベース
: 原材料の SDS
: 国際化学物質安全性カード (ICSC)
: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
: ACGIH
: 日本産業衛生学会
: IARC

その他 : 弱い皮膚刺激性、粘膜刺激性がある。人によって、長時間接触で炎症を起こすことがある。

問い合わせ先

久保井インキ株式会社 技術部

電話番号 : 06-6973-6211

FAX 番号 : 06-6973-6171

記載内容の変更等

この「安全データシート(SDS)」は、安全保証書ではありません。

本製品を取扱う場合はこの「安全データシート」を参考として、使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じて下さい。

また、「安全データシート」の内容は、法令の改正や新しい知見に基づき改定されることがあります。